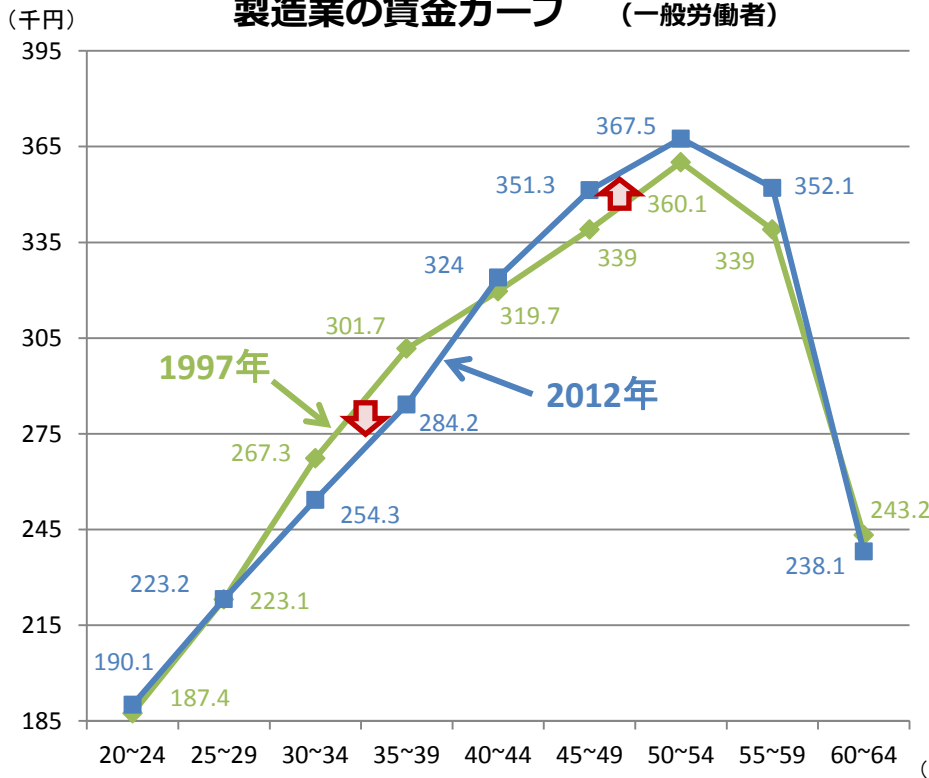


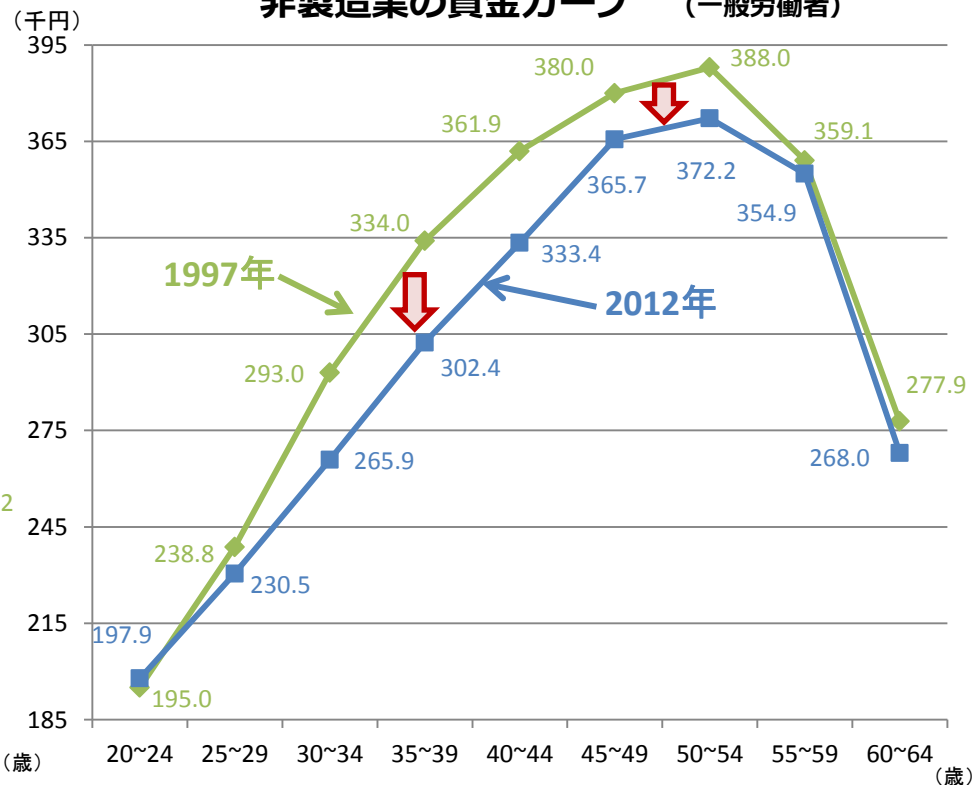
子育て世代（30代～40代前半）の賃金等の状況

- 製造業については、30代で賃金カーブが下降し、40代後半～50代で賃金カーブが上昇している。一方、非製造業については、賃金カーブが全体的に下降している。
- 子育て世帯の平均消費性向は高く、所得の増大が消費の拡大につながりやすい。

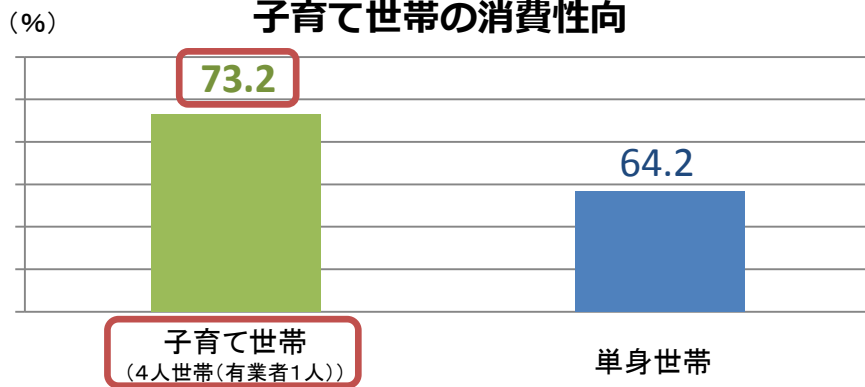
製造業の賃金カーブ（一般労働者）



非製造業の賃金カーブ（一般労働者）



子育て世帯の消費性向



【上の2つの図】

資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

(注1) 賃金は、きまって支給する現金給与額のうち所定内給与額。

(注2) 一般労働者とは、短時間労働者以外の者。

(注3) 非製造業の所定内給与額は、以下の計算方法によって算出。

非製造業の所定内給与額 = 非製造業の所定内給与総額 ÷ 非製造業の労働者数
 = (産業計の所定内給与額 × 労働者数 - 製造業の所定内給与額 × 労働者数) ÷ (産業計の労働者数 - 製造業の労働者数)

【左図】

資料出所：総務省「家計調査」(平成24年)

(注1) いずれも勤労者世帯のデータ。

(注2) ここでの子育て世帯には、18歳未満の者が平均1.87人存在。